

Accessのフォームで値の取得と設定を行うサンプルシナリオ

Access操作関連ライブラリを使用して、Accessファイルのフォームに表示された値の取得や設定を行うサンプルシナリオになります。

Accessのシステムを操作するシナリオ作成の学習に利用できます。

サンプルシナリオ概要

目次
はじめに
本サンプルシナリオの概要 <ul style="list-style-type: none">使用するWinActorモジュール本サンプルシナリオで使用するファイル動作確認環境
本サンプルシナリオの使い方 <ul style="list-style-type: none">Step1. サンプルシナリオの読み込みStep2. 動作に必要な変数を設定Step3. サンプルシナリオの実行Step4. サンプルシナリオの終了後の確認
トラブルシューティング
サンプルシナリオ解説 <ul style="list-style-type: none">本サンプルシナリオの流れ<ul style="list-style-type: none">【1】Accessファイルを開く【2】Accessフォームを開く【3】フォーム上の各コントロールに対し、値の取得及び設定を行う【4】Accessファイルを閉じ、Access(アプリ)を終了【参考】本サンプルシナリオの再利用について
変更履歴

はじめに

Access操作関連ライブラリを使用して、Accessファイルのフォームに表示された値の取得や設定を行うサンプルシナリオ(以降、本サンプルシナリオ)について説明します。

本サンプルシナリオの概要

本サンプルシナリオは、以下の処理を行います。

Accessファイル内の連結フォームのコントロールに表示された値を取得します。

他のコントロールへ値を設置します。取得した値によって、設置する値が変わります。(分岐)

フォームのレコードソースのテーブルにシナリオ内で設置した値を書き込みます。

使用するWinActorモジュール

本サンプルシナリオでは、以下のWinActorモジュールを使用します。

06_文字列操作/部分一致比較

プチライブラリ/Accessファイルを開くライブラリ

プチライブラリ/Accessファイルを保存なしで閉じるライブラリ

プチライブラリ/Accessファイルのフォームを開くライブラリ

プチライブラリ/Accessファイルのフォームを保存なしで閉じるライブラリ

プチライブラリ/Accessファイルのフォームで次のレコードへ移動するライブラリ

プチライブラリ/Accessファイルのフォームでオプショングループの指定の値を選択するライブラリ

プチライブラリ/Accessファイルのフォームのオプショングループで選択中の値を取得するライブラリ

プチライブラリ/Access操作(フォームのテキストボックスで値を取得)

プチライブラリ/Access操作(フォームのテキストボックスに値を設定)

プチライブラリ/Access操作(フォームのリストボックスを選択)

プチライブラリ/Access操作(フォームのリストボックスで選択全解除)

プチライブラリ/Access操作(フォームのリストボックスで選択項目取得)

プチライブラリ/Access操作(フォームのチェックボックスで状態を取得)

プチライブラリ/Access操作(フォームのチェックボックスに状態を設定)

(プチライブラリは[こちら \(https://winactor.biz/library/\)](https://winactor.biz/library/)からダウンロードできます)

本サンプルシナリオで使用するファイル

本サンプルシナリオで使用するAccessファイルについて

(1)Accessファイル内のオブジェクトについて

Accessファイル「サンプルDBファイル.accdb」(以降、サンプルDB)には以下のオブジェクトがあります。

テーブル

T_異動希望店舗回答

T_従業員マスタ

フォーム

F_異動希望店舗回答入力

(2) テーブル「T_異動希望店舗回答」とフォーム「F_異動希望店舗回答入力」(以降、入力フォーム)のデータについて

テーブル「T_異動希望店舗回答」は、フィールド「面談担当」以外は、あらかじめデータが入力されています。

入力フォームには、「T_異動希望店舗回答」と「T_従業員マスタ」のデータが表示されます。

(3) 入力フォームの動作について

「第一希望」「第二希望」「第三希望」の値によって、チェックボックスの状態(オン・オフ)を変えます。

「特記事項」の有無によって、オプショングループ内のボタン(あり・なし)を選択します。

チェックボックスの状態、オプショングループ内の選択されているボタンを取得し、その組み合わせに従って「面談担当」の部署を、リストボックスから選択します。

選択された「面談担当」は入力フォームのテキストボックス「txb_面談担当」に入力され、テーブル「T_異動希望店舗回答」に書き込まれます。

The screenshot shows a form titled 'F_異動希望店舗回答' with the following fields and annotations:

- 回答No.**: 2020-1H_TE003
- 従業員ID**: TE003
- 氏名**: うううう
- 第一希望**: A倉庫 (Annotated: 第一希望～第三希望に「倉庫」が含まれている場合、チェックが入ります。)
- 第二希望**: 貳号店
- 第三希望**: 五号店
- 特記事項**: 家事都合 (Annotated: 特記事項に記載がある場合、ボタンのありが選択されます。)
- 面談担当**: (Annotated: リストボックスで選択された項目がテキストボックスに転記されます。テキストボックスに入力された値が「T_異動希望店舗回答」の面談担当にセットされます。)
- 部署**: 研修室, 運営室, 相談室 (Annotated: 倉庫希望のチェックと特記事項の選択状態により選択される項目が変わります。)

サンプルAccessファイル概要

動作確認環境

本サンプルシナリオは以下の環境で動作確認しています。

Windows10

WinActor6.3.0、7.1.0

Access2019

本サンプルシナリオの使い方

本サンプルシナリオの実施方法は以下の通りです。

Step1. サンプルシナリオの読み込み

ダウンロードしたZIPファイルを展開し、展開したフォルダに含まれている本サンプルシナリオをWinActorで読み込みます。

Step2.動作に必要な変数を設定

本サンプルシナリオを実行するために必要な値を、変数一覧で設定します。

本サンプルシナリオでは同梱のサンプルDBを使用する前提で各値を指定しています。他のAccessファイルを使用する場合は適宜変更してください。

Accessファイル

Accessのサンプルファイル(サンプルDB)の名前を指定します。

例) サンプルDBファイル.accdb

入力フォーム

操作するフォームの名前を指定します。

例) F_異動希望店舗回答入力

txb_回答No、txb_第一希望、txb_第二希望、txb_第三希望、txb_特記事項

入力フォーム上の値取得対象となるテキストボックスの名前を指定します。

例) txb_回答No、txb_第一希望、txb_特記事項

txb_面談担当

入力フォーム上の値設置対象となるテキストボックスの名前を指定します。

例) txb_面談担当

chb_倉庫希望チェック

入力フォーム上のチェックボックスの名前を指定します。

例) chb_倉庫希望チェック

opg_特記事項有無

入力フォーム上のオプショングループの名前を指定します。

例) opg_特記事項有無

lhx_面談担当リスト

入力フォーム上のリストボックスの名前を指定します。

例) lhx_面談担当リスト

オプションG値_1(あり)、オプションG値_2(なし)

オプショングループに設定する値を指定します。

例) 1

lhx項目_研修室、lhx項目_運営室、lhx項目_相談室

リストボックスの項目の値を指定します。

例) 研修室

部分一致対象「倉庫」

txb_第一希望、txb_第二希望、txb_第三希望の値(v_第一希望、v_第二希望、v_第三希望)に「倉庫」が含まれているか、部分一致比較に用いる文字列「倉庫」を指定します。

例) 倉庫



グループ名	変数名	現在値	初期値
ファイル・フォーム	Accessファイル		<input type="checkbox"/> サンプルDBファイル:acddb
	入力フォーム		<input type="checkbox"/> F_異動希望店舗回答入力
コントロール名	txb_回答No		<input type="checkbox"/> txb_回答No
	txb_第一希望		<input type="checkbox"/> txb_第一希望
	txb_第二希望		<input type="checkbox"/> txb_第二希望
	txb_第三希望		<input type="checkbox"/> txb_第三希望
	txb_特記事項		<input type="checkbox"/> txb_特記事項
	txb_面談担当		<input type="checkbox"/> txb_面談担当
	chb_倉庫希望チェック		<input type="checkbox"/> chb_倉庫希望チェック
	ope_特記事項有無		<input type="checkbox"/> ope_特記事項有無
	lhx_面談担当リスト		<input type="checkbox"/> lhx_面談担当リスト
コントロール設定値	オプションG値_1(あり)		<input type="checkbox"/> 1
	オプションG値_2(なし)		<input type="checkbox"/> 2
	lhx項目_研修室		<input type="checkbox"/> 研修室
	lhx項目_運営室		<input type="checkbox"/> 運営室
	lhx項目_相談室		<input type="checkbox"/> 相談室
コントロールから取得	v_回答No		<input type="checkbox"/>
	v_第一希望		<input type="checkbox"/>
	v_第二希望		<input type="checkbox"/>
	v_第三希望		<input type="checkbox"/>
	v_特記事項		<input type="checkbox"/>
	チェックB状態		<input type="checkbox"/>
	オプションG状態		<input type="checkbox"/>
	リストB選択済項目		<input type="checkbox"/>
判定	部分一致対象「倉庫」		<input type="checkbox"/> 倉庫
	部分一致結果_v_第一希望		<input type="checkbox"/>
	部分一致結果_v_第二希望		<input type="checkbox"/>
	部分一致結果_v_第三希望		<input type="checkbox"/>
	結果		<input type="checkbox"/>

変数一覧画面

Step3. サンプルシナリオの実行

WinActorで本サンプルシナリオを実行します。

面談担当のテキストボックスへ、選択したリストボックスの値を設定後、Accessファイルを閉じ、本サンプルシナリオは終了します。

Step4. サンプルシナリオの終了後の確認

T_異動希望店舗回答の面談担当に、値が設定されていることを確認してください。

トラブルシューティング

本サンプルシナリオでは、変数指定が不十分であった場合、エラーメッセージが出力されます。

詳細については、エラーメッセージ一覧 (https://winactor.biz/samplescenario/errmsg_11508.html)を参照してください。

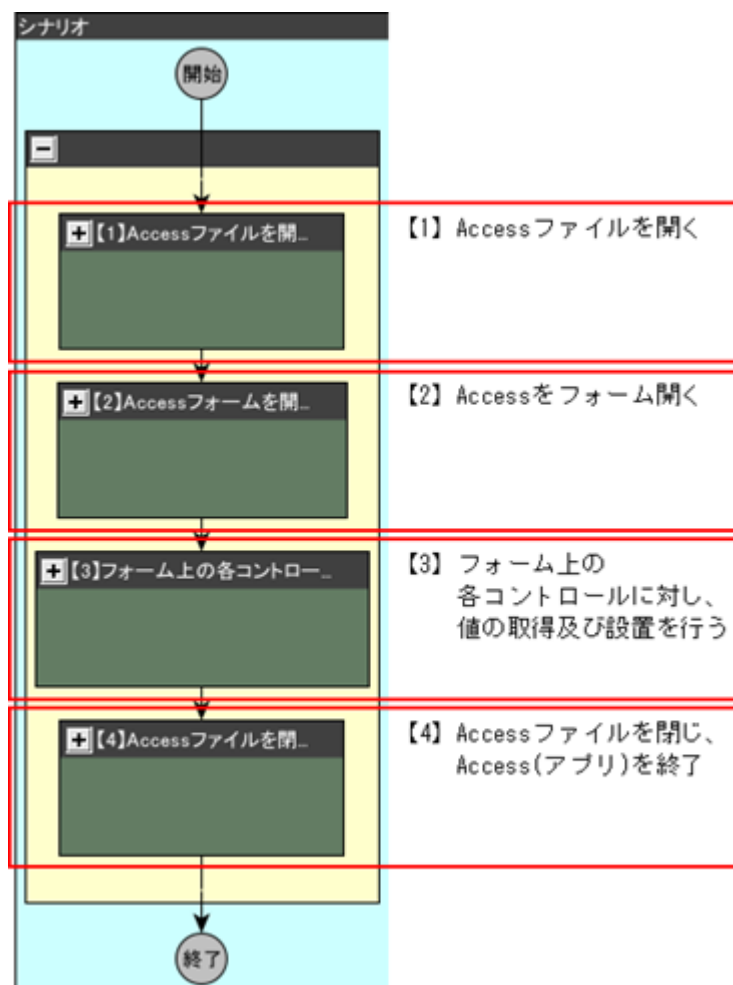
サンプルシナリオ解説

本サンプルシナリオで使用している実装テクニックについて説明します。

本サンプルシナリオの流れ

本サンプルシナリオは以下の順で動作します。

- 【1】Accessファイルを開く
- 【2】Accessフォームを開く
- 【3】フォーム上の各コントロールに対し、値の取得及び設置を行う
- 【4】Accessファイルを閉じ、Access(アプリ)を終了



シナリオフロー全体

【1】Accessファイルを開く

サンプルDBを開きます。

【2】Accessフォームを開く

入力フォームを開きます。



【1】ファイルを開く-【2】フォームを開く

【3】フォーム上の各コントロールに対し、値の取得及び設置を行う

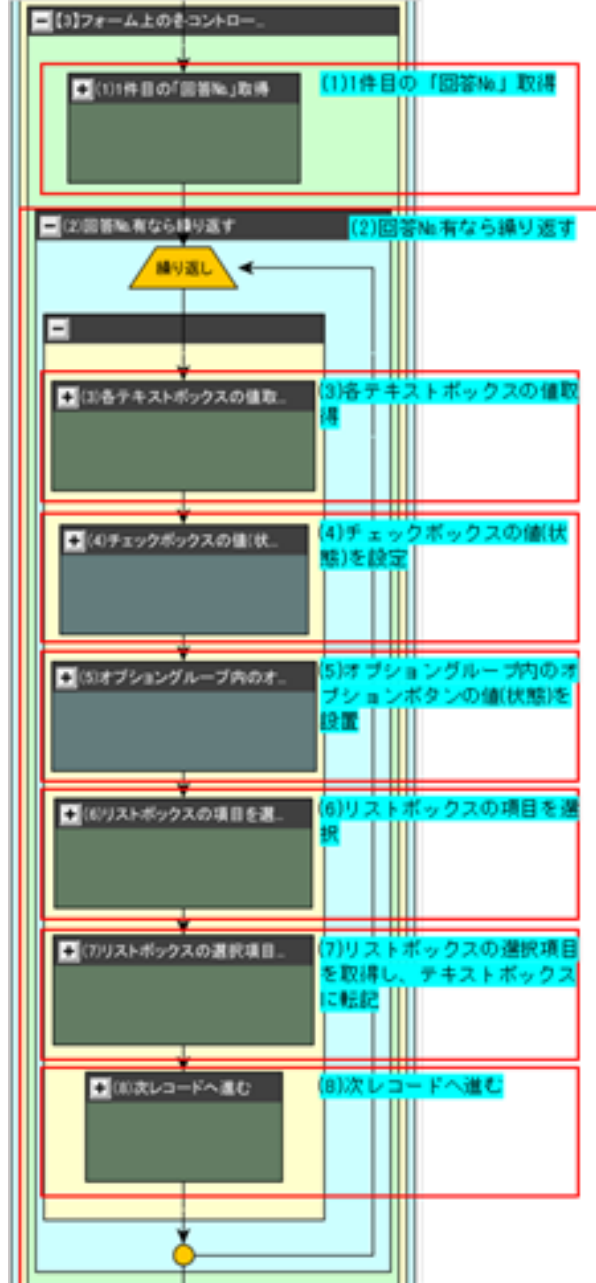
既存のデータが表示されている各テキストボックスから値を取得します。

その後、他の各コントロールへ値(状態)を設置します。設置する値(状態)は、取得した値による分岐先により決定します。

フォーム操作の繰り返しについて

フォームの操作は、レコード数分繰り返します。(繰り返しグループ「(2)回答No.有なら繰り返す」)

レコードの有無はテキストボックス「txb_回答No.」の値の有無で判定します。値が空白であれば、繰り返しを終了します。



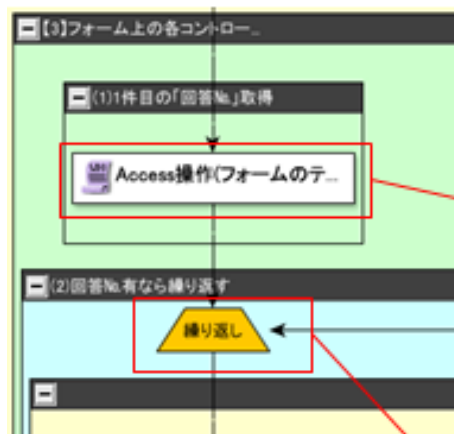
[3] フォームの値の取得及び設置

(1) 1件目の「回答No.」取得

最初のレコードのテキストボックス「txb_回答No.」の値を取得します。

(2) 回答No.有なら繰り返す

- 1.「回答No.」の値が空白でなければ、フォーム操作を行います。
- 2.「回答No.」の値が空白であれば、繰り返しを終了します。



プロパティ - スクリプト実行

名前: Access操作(フォームのテキストボックスで値を取得)

コメント:

設定 | スクリプト | 注釈

【コントロール名】
操作対象のテキストボックスの名前を指定してください。

【格納先変数】
取得した値を格納する変数を指定してください。

ファイル名: Accessファイル

フォーム名: 入力フォーム

サブフォーム名: 値⇒

コントロール名: txb_回答No

格納先変数: v_回答No

OK キャンセル

条件式

AND/OR/NOT追加 条件追加 削除

階層表示	値1	比較演算子	値2
条件設定	v_回答No	等しくない	値⇒

【3】-(1)(2)繰り返し条件設定

(3) 各テキストボックスの値取得

フォームの各テキストボックス(txb_第一希望、txb_第二希望、txb_第三希望、txb_特記事項)の値を取得します。



F_異動希望店舗回答

回答No. 2020-1 H_TE003

従業員ID TE003

氏名 うううウ

第一希望 A倉庫

第二希望 貳号店

第三希望 五号店

特記事項
家事都合

テキストボックス

【3】-(3)テキストボックスの値を取得

(4) チェックボックスの値(状態)を設定

上記(3)で取得したtxb_第一希望、txb_第二希望、txb_第三希望の値に「倉庫」が含まれているか否かで分岐します。

1.txb_第一希望、txb_第二希望、txb_第三希望の値(変数「v_第一希望」、「v_第二希望」、「v_第三希望」)に「倉庫」が含まれているか、部分一致比較をします。

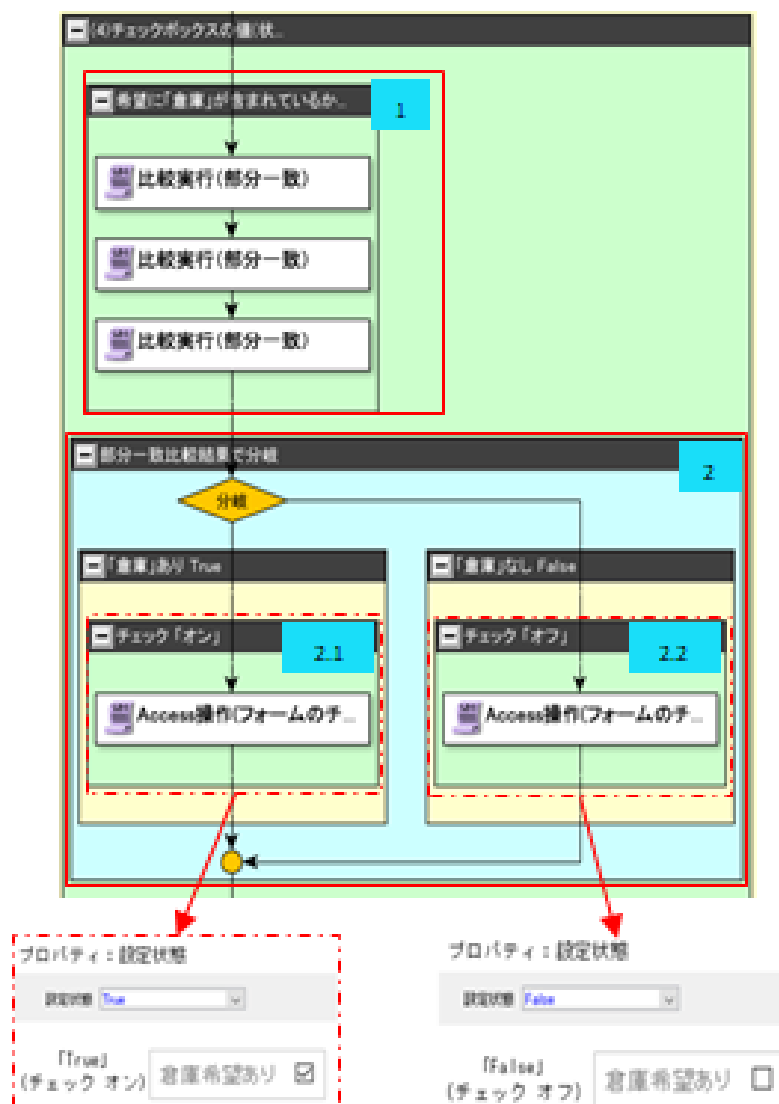
2.部分一致比較の結果で分岐します。

2.1.「倉庫」が含まれている

→チェックボックスを「オン」(チェックを入れた状態 設定状態「True」)にします。

2.2.「倉庫」が含まれていない

→チェックボックスを「オフ」(チェックがない状態 設定状態「False」)にします。



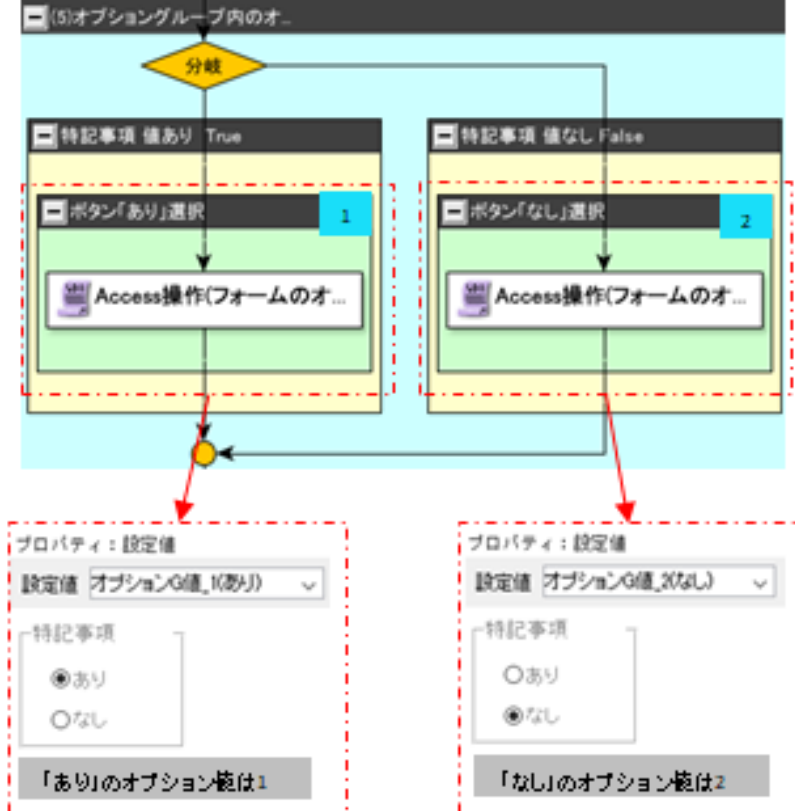
【3】-(4)チェックボックスの状態設定

(5) オプショングループ内のオプションボタンの値(状態)を設置

上記(3)で取得した「txb_特記事項」の値(v_特記事項)の有無で分岐します。

1.値あり→オプションボタン「あり」(オプション値:1)を選択します。

2.値なし→オプションボタン「なし」(オプション値:2)を選択します。



【3】-(5)オプショングループのボタン選択

(6) リストボックスの項目を選択

1. チェックボックスとオプショングループの値(状態)を取得します。
2. 値(状態)の組み合わせで分岐します。

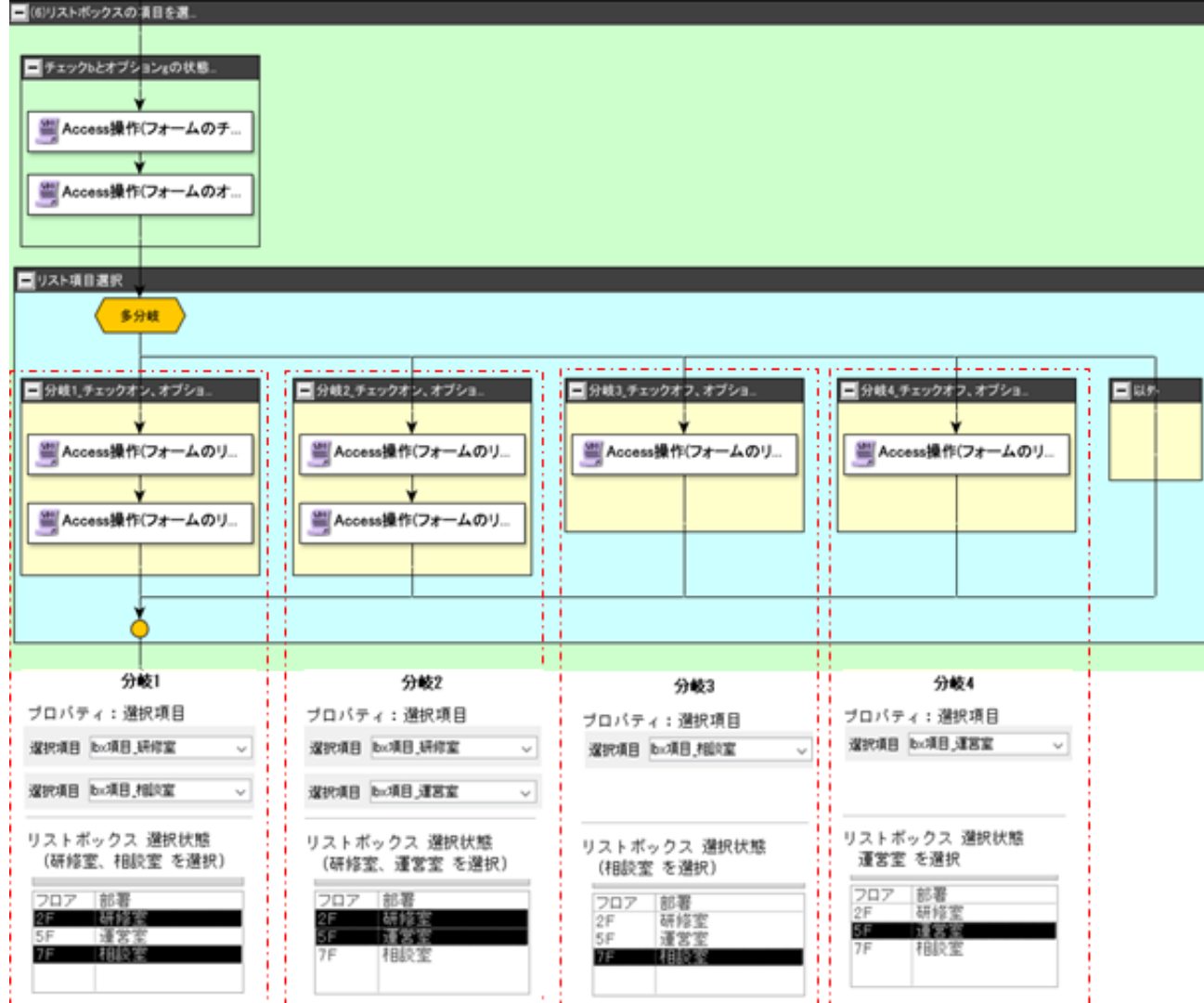
どの組み合わせにも該当しない場合((4)でチェックボックスの設定状態がNULLであった場合)は「以外」へ進み、リストボックスの項目選択は行いません。

分岐条件の組み合わせと選択する項目は以下の「リスト項目選択多分岐」の通りです。

()内はリストボックスの選択項目

チェックボックス	オプショングループ	
	あり<オプション値1>	なし<オプション値2>
オン<True>	分岐1 (研修室,相談室)	分岐2 (研修室,運営室)
オフ<False>	分岐3 (相談室)	分岐4 (運営室)
<NULL>	「以外」(項目選択なし)	「以外」(項目選択なし)

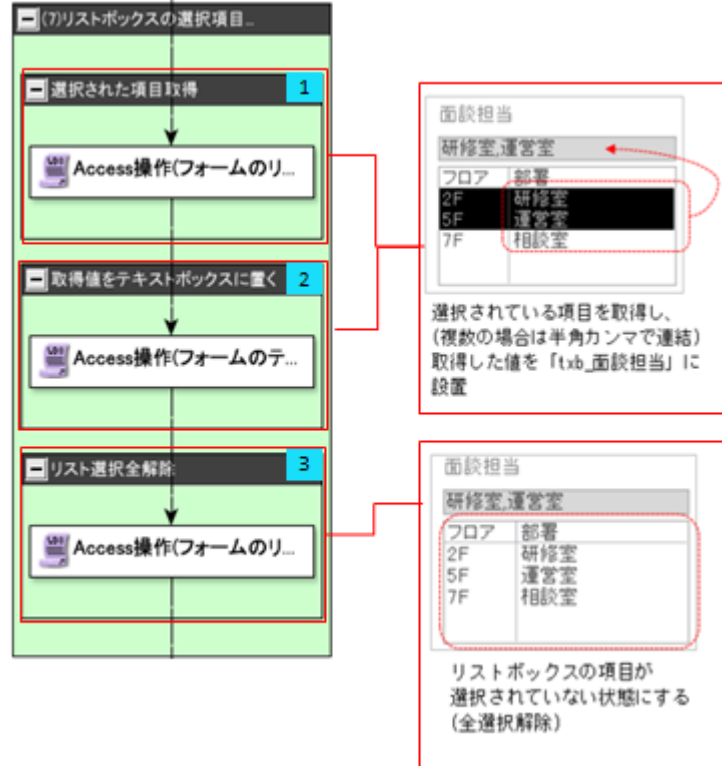
リスト項目選択多分岐



【3】-(6)リストボックス選択項目分岐

(7) リストボックスの選択項目を取得し、テキストボックスに転記

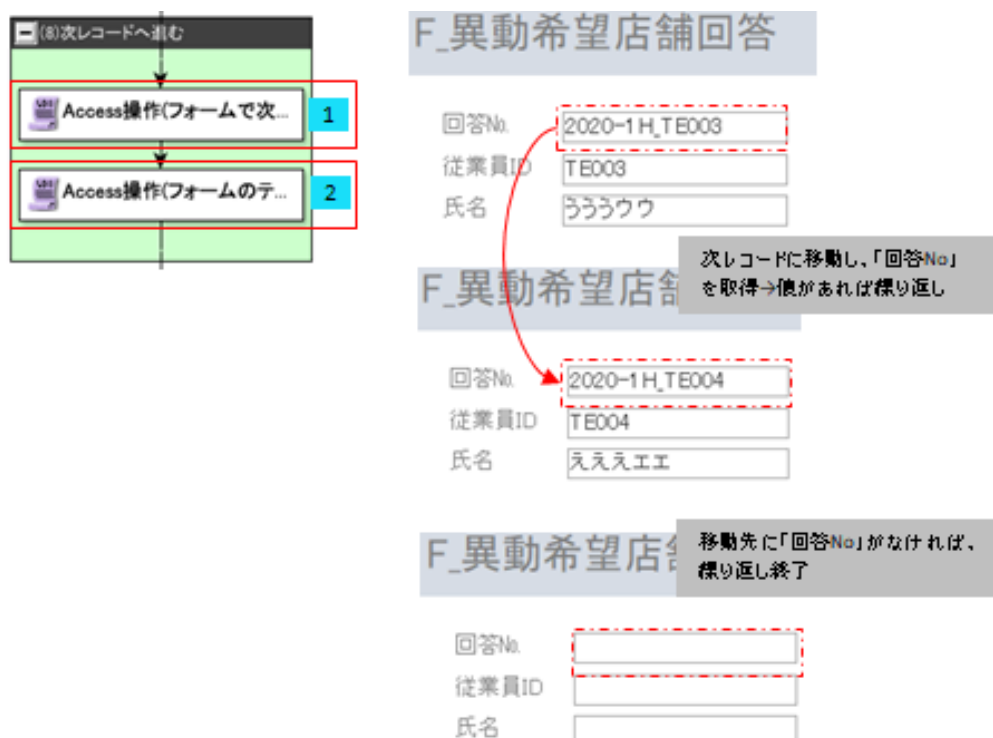
1. リストボックスの選択されている項目(値)を取得します。
2. 取得した値を「txb_面談担当」に設置します。
3. リストボックスの項目の選択を全て解除します。



【3】-(7)リストボックス選択項目転記・選択全解除

(8) 次のレコードへ進む

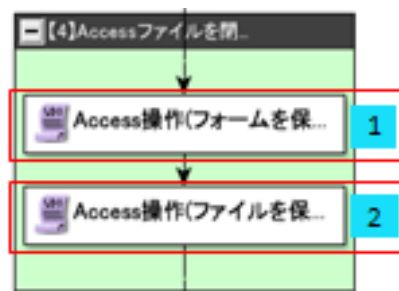
1. 次のレコードへ進みます。
2. 「txt_回答No.」の値を取得します。
3. 「(2)「回答No.」の値の有無で分岐」に戻ります。「txt_回答No.」の値があれば、フォーム操作を繰り返します。



【3】-(8)次レコードへ移動・「回答No.」取得

【4】Accessファイルを閉じ、Access(アプリ)を終了

- 1.入力フォームを閉じます。
- 2.サンプルDBを閉じAccessを終了します。



【4】Accessファイルを閉じる

【参考】本サンプルシナリオの再利用について

本サンプルシナリオを再利用する際は、作業対象とするファイルに応じてファイル名やフォーム名等変更の他、Accessの各オブジェクト及びコントロールの設定をご確認の上、各ライブラリのプロパティ設定を変更してご使用ください。

(1)テキストボックスについて

(シナリオ内使用箇所【3】フォーム上の各コントロールに対し、値の取得及び設置を行う-(3),(7))

- ・テキストボックスは、使用するAccessファイルの各プロパティを確認し、ライブラリのプロパティ「コントロール名」で名前を変更してご使用ください。

(2)チェックボックスについて

(シナリオ内使用箇所【3】フォーム上の各コントロールに対し、値の取得及び設置を行う-(4),(6))

- ・本サンプルシナリオでは、シナリオ内でチェックボックスのオンオフを切り替え、値としてオンの場合は「True」、オフの場合は「False」を設定しています。

(3)オプショングループについて

(シナリオ内使用箇所【3】フォーム上の各コントロールに対し、値の取得及び設置を行う-(5),(6))

- ・オプショングループ内のオプションボタンの選択は、各ボタンに割り当てられたオプション値を指定して行っています。
- ・使用するAccessファイルの各オプションボタンのプロパティから、それぞれのボタンに割り当てられているオプション値をご確認ください。

(4)リストボックスについて

(シナリオ内使用箇所【3】フォーム上の各コントロールに対し、値の取得及び設置を行う-(6),(7))

- ・リストボックスの項目選択では、リストボックスの「連結列」として指定された列の値を選択しています。
- ・「連結列」の列番号は、使用するAccessファイルのプロパティをご確認ください。
- ・リストボックス選択項目取得では、選択されている項目を、半角カンマ区切りで連結しています。

項目を分割したい場合は、ライブラリ「07_文字列操作/02_切り出し・分割」配下の「文字列を前後に分割」「文字列を前後に分割」「文字列分割」等を使用してください。

変更履歴

版数
1.0版
日付
2020/11/16
修正内容
初版

版数
1.1版
日付
2024/1/16
修正内容
・注意事項を削除 ・ファイル名を「SS2011_11508_AccessOperation_SetAndGetValuesOnForm_1.0.1.zip」に変更